

新人段階別到達目標（共通）

時期 目標	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
	『生活の仕方を学ぶ』段階	『学び方を学ぶ』段階	『働き方を学ぶ』段階	『自己の役割を学ぶ』段階
看護実践	・指導を受けながら割り当てられた患者の情報収集ができる ・指導を受けながら割り当てられた患者の日常生活援助ができる ・実践したことを報告できる ・卒後 3 ヶ月に必要な処置・技術を習得できる ・指差し、声出し、6R 確認行為ができる ・スタンダードプリコーションができる ・清潔・不潔を理解し行動できる ・指導を受けながら正しく電子カルテの閲覧・入力・出力ができる	・指導を受けながら、割り当てられた患者の看護問題を理解できる。また症状と反応を観察し、異常について報告できる ・割り当てられた患者の看護計画に沿って看護ケアができる ・指導を受けながら夜勤業務ができる ・手順に沿って電子カルテの入力・出力ができる ・卒後 6 ヶ月に必要な処置・技術を習得できる ・未習得の看護技術を実施する場合に指導、確認を求めることができる	・指導を受けながら看護基準をもとに受け持ち看護師として患者の看護過程を展開できる ・指導を受けながら割り当てられた患者の看護ケアについて妥当性を評価できる ・指導を受けながら重症患者、ADL の低い患者を担当することができる ・実践した看護業務の振り返りができる	・指導を受けながら受け持ち看護師の役割が果たせる。 ・割り当てられた患者の状態や状況の変化に合わせた対応ができる ・手順を基に正確に安全に看護業務が遂行できる ・卒後 12 ヶ月に必要な処置・技術を習得できる ・緊急時、指示を受けて行動できる
看護管理	・病院、病棟の構造・設備・特殊性を理解できる ・看護部勤務マニュアルを知る ・看護部の理念や目標、所属部署の目標が理解できる ・看護者の倫理綱領を携帯できる ・組織人としての接遇を身につけられ、看護職員として期待されている役割が理解できる ・看護ケアを提供するための基本的な安全の考え方について知る。またインシデント報告ルート（平日・夜間休日）方法を知っている ・個人情報保護について、院内の決まり事がわかる	・所属部署の目的、目標を知り、その達成の活動に参加する ・指導を受けながら、防災設備・避難用具の点検・取り扱いができる ・指導を受けながら毎日の業務から起こり得る事故を知り、防止対策が実施できる ・自己の健康管理ができる ・医療機器や物品の破損や異常を師長に報告できる ・インシデント報告ができる ・物流システムがわかる	・療養環境の不備、備品の破損などに気づき報告できる ・指導を受けながら院内感染対策マニュアルに沿った行動ができる ・一日の業務計画を立て、時間内に終わらせることができる ・不足物品の報告をリーダーに報告できる ・院内の他職種の役割を知る	・災害発生時は指導のもと指示に従って行動できる ・他部門との連携が理解でき、速やかに連絡できる ・病棟内（チーム内）の活動に積極的に関わることができる ・インシデントカンファレンスに参加して、起こしやすい傾向を知り、対策と一緒に考えることができる ・経済性を考えて物品の取り扱いができる
人間関係	・社会人としてのあいさつや身だしなみができる ・困りごとや悩みを同僚やプリセプターなどに話することができる ・わからないことを聞くことができる ・所属部署の雰囲気に慣れる	・社会人として正しい言葉づかいができる ・日常の看護の中で疑問や問題意識を持ち先輩看護師に相談できる ・患者・家族に依頼されたことに確実に対応できる	・自分の考えや意見を患者、家族、同僚に伝えられる ・疑問や問題についてあやふやにせず、解決に向けて行動できる	・患者・家族の思いや考えをよく聞き、尊重でき、信頼を得るための行動ができる ・他のスタッフと協力できる ・自分自身の感情・思考・行動の傾向を知ることができる
教育	・教育プログラムにそって学習をすすめる ・プリセプターシップを理解することができる ・所属部署の勉強会に参加する ・集合教育に参加する	・学習計画を立てポイントを押さえた自己学習ができる ・3 ヶ月評価を行い未経験項目を知る ・院内の研修会に参加することができる ・看護部会議・各種委員会の報告を聞き現状を知ることができる	・未経験なことを自らすすんで経験することができる ・日常の看護の中で疑問や問題意識をもつことができる ・6 ヶ月評価を行い自己の課題を明確にすることができる ・看護協会ニュース等に目を向けることができる	・目的意識を持ち、積極的に勉強会に参加する ・看護に必要な知識を主体的に学習する。また、自己の学習を発表、共有することができる ・1 年を振り返り、自己の看護観を明確にする。また、2 年目の課題を明確にできる